

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報

				令和	4	年度
事業番号	362		事業名	防災対策費		
担当課	総務課防災室		担当係	防災係	担当者	遠藤 教浩
総合計画に最も関連ある施策	施策	3	安心安全な暮らしづくり		連絡先	
	施策体系	5	地域防災・防犯体制の推進		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規
	主な事業	防災備蓄品の更新、防災訓練の実施				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算区分	款	8	消防費		事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 八頭町
	項	1	消防費			<input type="checkbox"/> その他
	目	1	非常備消防費		計画期間	開始
	事業	362	防災対策費			終了

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 八頭町民		
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 災害時に八頭町民の生命・財産を守るため、平常時より災害に対する備えを行うこと。		
事業の内容・手段	事業の規模や業務量など、どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 防災備蓄品の更新(保存水500ml 2,280本、アレルギー対応等保存食 980食等)。全集落を対象とした防災訓練の実施(うち3集落をモデル地区として実施)。		
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 鳥取県内の市町村で災害備蓄品を融通しあう連携備蓄目標数量を基準に、更新年月日を迎える備蓄品を更新。		
根拠法令等	1	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし	法令等名→ 災害対策基本法

3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし
	A	集落	防災訓練の参加集落数。
	B		
	C		
	D		
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし
	A	%	防災訓練の実施集落参加率。
	B	人	防災訓練の参加者数。
	C	%	更新した防災マップ・地震ハザードマップの全戸配布。
	D	%	連携備蓄目標数量に対する平均整備率。

4 コスト

区分	単位	R1年度	R2年度	R3年度		R4年度		R5年度	
		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
活動指標	A	集落	121	100	131	-	132	-	132
	B								
	C								
	D								
成果指標	A	%	93	76	100	-	100	-	100
	B	人	6,757	3,855	6,000	-	6,000	-	6,000
	C	%	-	-	-	-	-	100	-
	D	%	100	100	100	100	100	100	100
トータルコスト	千円	8,351	16,710	15,395	15,264	11,723	10,470	16,313	
担当職員数	人	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
職員人件費	千円	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	
事業費	千円	5,151	13,510	12,195	12,064	8,523	7,270	13,113	
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円							
	県支出金(交付金・補助金)	千円	2,157	3,400	1,215	3,395	1,662	2,795	1,647
	地方債(借入金)	千円							
	事業収入(使用料・参加費等)	千円							
	一般財源(単町費)	千円	2,994	10,110	10,980	8,669	6,861	4,475	11,466

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

令和 4 年度

実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> ・八頭町民の防災技術の向上と防災意識の高揚を図るため、防災訓練を実施する。 ・災害時の避難所に使用する防災備蓄品を充実させる。
	成果(具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害で起こる被害を最小限に抑える防災訓練を行う。(コロナ感染症拡大のため、訓練は中止となったが、防災の啓発チラシを全戸配布した。) ・災害時に安心して避難所に行けるように防災備蓄品を整備できた。

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	・災害時、自分や人の命を守るためには、防災訓練実施の必要性は非常に高い。 避難所での生活は、大変、重要であるため、防災備蓄品の充実を図る。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	20	20	①町が行わないといけない	・町の地域防災計画で定められているように、町は、避難所の整備及び防災訓練を実施して、町民の命、身体及び財産の保護並びに生活及び地域経済に及ぼす影響の最小化を図る。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無い)	13	20	①効率的である	・八頭町は、9月1日を「八頭町防災の日」と定め、直前の日曜日に防災訓練を全集落対象で、年に1回、行っている。 防災備蓄品は、ローリングストックでの購入を心掛けている。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	・防災対策は、非常に重要で、いつ起こるかかわからない災害に対応しなければならない。 計画的な事業実施が必要である。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	20	20	①成果が上がっている	・平成19年度から、防災訓練を継続してきて、年々集落の訓練参加率が上がっており、町民の防災意識が高まっている。 防災備蓄品は、かなり充実してきたので、防災研修会などで、高評価を得ている。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	
合計	86			

7 町の方向性・方針

事業の方向性	問題点及び今後の課題・方向性
1 拡充する	(事業活動に当たり、一番の問題点として捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所) ・近年、全国的に大きな災害が発生している。 ・防災訓練等の内容を充実させ、今以上に町民の防災意識の高揚、防災体制の拡充を図る。 (上記問題点を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか) ・過去の防災訓練の課題を明らかにして、内部でしっかり検討・協議を行い、各集落にあった充実した訓練を実施する。
2 改善・効率化し継続	
3 現状維持	
4 見直しの上縮小する	
5 終期設定し終了	
6 廃止	